



鯨推収発第 2015 号  
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 殿

鯨沢町長 石川 洋 司



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 1 1 4 号にて依頼のありましたこのことにつ  
きまして、別紙のとおり回答いたします。



○ 今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画の作成にあつての意見

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策  
山間地を抱える地方の町にとって、緊急災害時の道路網の寸断は集落の孤立につながる。防災・減災面に重点を置いた安全・安心の道路網の整備が最も重要であると考え。
- ・ 効率化を優先的に進める上で重視すべきこと。  
効率化を計る指標やデータにのみ重点を置くと、大都市や高規格道路優先となり、山間地方を支える生活道路網の整備はきりすてられるのではないかとの危惧がある。効率化と相反するローカルな生活道路を考える視点も必要である。  
そもそも、道路特定財源の8割を占めるガソリン税等の一世帯当たりが納める金額は、公共交通機関の少ない地方世帯の方が多いのではないか。道路整備財源の地方負担率や車に変わる交通機関のないことなども考慮した上で、地方と都市の配分、優先順を定めるべきである。
- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見  
既存の橋や道路を補完（補強、修繕、改良等）していく姿勢が必要である。なぜなら、既存の道路等地域の生活大きな関わりがある道路であるからであり、このことが新道路建設に係る経費の削減や無駄の排除にもつながることになると思うからである。

整備中の高規格道路（中部横断道等）については、早期に完了すること。